

■話して、聴いて、つながる～“ひきこもり”“不登校”をテーマに、鳥栖市社協と共催で「Junction in Tosu」を開催しました～

11月28日（金）・29日（土）の2日間、「Junction in Tosu “ひきこもり” “不登校”を共に考える合流分岐点」を開催しました。▶今回のイベントは、ひきこもりや不登校についての理解を深め、さまざまな立場の参加者同士が対話や交流を通じて思いを分かち合い、互いの立場を理解し合うことを目的に開催しました。▶1日目は（一財）ひきこもりUX会議 共同代表理事の林恭子氏、筑波大学名誉教授 斎藤環氏、立教大学社会学部教授 石川良子氏を迎え、講演会、パネルディスカッションを行いました。参加者は熱心に耳を傾け、当事者や家族を支えるための視点について理解を深めました。▶2日目には、ひきこもり経験者の体験談や斎藤氏、石川氏による参加者との対話などのトークセッション、参加者同士の交流会を行いました。参加者からは、「さまざまな立場の方と話すことで考えが広がった」「他参加者との対話を通じて、自分を見つめ直すことができた」といった声が聞かれ、対話を通じて理解と共感が深まる時間となりました。▶本会では、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指し、地域の多様な主体と連携しながら、誰もがつながり合える仕組みづくりを進めていきます。



【当事者への理解や支援の在り方について想いを語る登壇者】

■佐賀DWAT 災害時の福祉支援の強化へ ～「場」から「人」へ広がる役割～

11月26日（水）、グランデはぐれにて「佐賀県災害派遣福祉チーム（佐賀DWAT）ステップアップ研修」を開催しました。▶本研修は、大規模災害時に迅速かつ的確な支援を行うため、平時から避難所等の福祉ニーズやチームの役割を理解し、実践的な知識と技術を身につけることを目的に開催。当日は基礎研修を修了したチーム員や新任担当者など19名が参加しました。▶研修では、「避難所の課題や支援者のあり方を考える」をテーマにしたグループ演習を通じて現場での対応力を高めるとともに、被災者の状況や課題を把握するためのアセスメント演習を行うことで、具体的な視点や方法を学びました。また、法改正により在宅避難者や車中泊者も支援対象となったことが説明され、DWATに求められる役割の広がりが強調されました。▶参加者からは、「平時からのシミュレーションが必要だと感じた」「多職種連携の重要性を再認識した」といった声が寄せられました。▶今後、DWATは福祉の専門職としての視点を活かして、避難所だけでなく在宅や車中泊で過ごす被災者への支援を担います。活動は、介護・児童・障害支援など多様な資格や職種のメンバーで構成されたチームが現場に入り、保健・医療チームと連携・協働しながら支援を行います。災害時における福祉支援の重要性はますます高まっており、平時からの準備と専門性を活かした対応が不可欠です。本会では、こうした体制強化に向けた研修を継続し、地域の安心を支える取り組みを進めていきます。



【避難所での課題をテーマに、意見を交わすDWATチーム員】

■保育の魅力を知り、未来へ踏み出す第一歩

～第1回保育のおしごとフェアを開催しました～

11月1日（土）、佐賀県社会福祉会館Fukkuにて「令和7年度 第1回 保育のおしごとフェア」を開催しました。▶本フェアでは、保育の仕事に関心のある方を対象に、仕事内容や必要な資格、就職に関する情報を提供しています。さらに、県内事業所の人事担当者と直接個別に話ができる場を設けることで、保育現場への理解を深め、佐賀県内の保育人材確保につなげることを目的としています。▶当日は、県内の保育所・認定こども園等、計32事業所にブースを設置いただき、来場者の皆さまへ事業所紹介や業務内容、求人票について丁寧に説明していただきました。参加者からは「いろいろな園の話の聞きに行きやすくて良かった」「ブースごとに分かれていて話が聞きやすかった」などの声が寄せられ、保育のおしごとに関心を持っていただく好機となりました。▶なお、令和8年1月24日（土）には、フレスポ鳥栖にて第2回保育のおしごとフェアを開催予定です。商業施設での開催となりますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。▶本会では、今後も保育の現場と求職者をつなぐ架け橋として、より良い支援に取り組んでまいります。



【各ブースを訪れ、保育現場について理解を深める参加者のみなさん】

■SAGA久光スプリングスと協力・連携して赤い羽根共同募金活動を行いました！

プロバレーボールチームのSAGA久光スプリングスのご協力により、11月16日（日）に試合会場であるSAGAアリーナにて、赤い羽根共同募金を行いました。▶今回の募金活動には、西九州大学と西九州大学短期大学部の学生ボランティアが参加してくださいました。学生の皆さんの「温かいご協力をお願いします！」という元気いっぱいの呼びかけのおかげで、会場を訪れた多くの皆様から温かい募金が寄せられました。▶今回のSAGA久光スプリングスホームゲーム募金活動については、初めての取り組みでしたが、SAGA久光スプリングスの強いバックアップをはじめ、学生の皆様のご協力のおかげで盛況に終えることができました。▶今後も本会としては、SAGA久光スプリングスやサガン鳥栖等の県内チームと連携した募金活動を通して、赤い羽根共同募金を県民の皆様にご案内いただけるようにつとめます。▶なお、皆様から集まった募金は、令和8年度に県内で実施される「ひきこもり支援や生活困窮者の自立支援」「地域のつながりを育むふれあいサロン活動の支援」等を実するまちづくり事業のほか、災害支援活動を支えるための財源として活用します。



【当日は希望君も参加し、子どもたちに大人気でした！】

■お知らせ

■令和7年度 福祉研修センター 研修一覧

※詳細は本会HP掲載 (<https://www.sagaken-shakyo.or.jp/>)

(新) 判断力を磨く！緊急時における適切な意思決定と行動のスキルアップ研修

令和8年1月30日（金）

◆県社協ホームページアドレス: <https://www.sagaken-shakyo.or.jp/>

◆県社協公式 Instagram: <https://www.instagram.com/sagakenshakyo/>

